

「令和四年新年ご挨拶」

奈良県 知事 荒井 正 吾



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

奈良県中小企業団体中央会におかれましては、平素より中小企業組合の連携組織をはじめとする県内中小企業・小規模事業者の発展・活性化に取り組む団体として、本県の産業・観光・雇用の振興に多大なご貢献をいただいておりますことに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

県内中小企業・小規模事業者の皆様におかれましては、長期間にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により、大変なご苦勞をされていることと存じます。そのような状況を受け、本県といたしましても、制度融資をはじめとする経済対策により、県内中小企業・小規模事業者の皆様への経営の維持・発展を目指して取り組んでいるところです。

さらに、本県では「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを目指すべき姿として、産業振興・医療の充実・まちづくりなど様々な分野において取組を進めております。とりわけ経済の分野につきましては、「地域経済活性化」と「地域雇用戦略」の2つを柱に、工場誘致・工業ゾーンの創出・奈良県版働き方改革の推進など様々な取組を通じて、県経済の好循環を目指しております。

本年は、歴史芸術文化活動の拠点である「なら歴史芸術文化村」が3月21日に開村することや、食と観光が連携したガストロノミーツーリズムの推進を目的とした国連世界観光機関（UNWTO）主催の「第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラム」が6月に県コンベンションセンターなどを会場として開催予定であることなど、本県が世界に誇る観光資源・豊かな農産物・良質な地場産品などの魅力を広く発信する機会が増えます。これらの機会を最大限活用し、観光需要喚起と販路拡大に全力で取り組んでまいります。

中小企業の各組合は、技術・情報・人材など、個々の企業では不足する

経営資源について、共同事業を通じて相互補完を図る素晴らしい仕組みであり、コロナ禍である今こそ、その強みを発揮される時です。

本県といたしましても、地域経済の活性化及び発展と新型コロナウイルス感染症拡大防止の両立を目指し、引き続き全力で取り組んでまいりますので、奈良県中小企業団体中央会及び中小企業・小規模事業者の皆様方におかれましては、共にこの困難を乗り越えるため、今後とも奈良県政の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、奈良県中小企業団体中央会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。

